

集団づくり部会

1. 研究課題

集団も個人も向上していくために、どのような工夫が考えられるか ～コロナ禍で失った力を取り戻せ～

2. 討議の柱

- (1) 児童会・生徒会・小中連携で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小・中)
- (2) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(小)
- (3) 学級や学年で、集団と個人が相乗効果を得ながら向上していくための実践と工夫(中)
- (4) 集団と個人が相乗効果を得ながら向上していく集団活動の工夫(小・中)

3. 研究協議会時の交流体制および運営体制

※詳細は、部会HPをご覧ください。

(1) 討議の方法

①前半は、体育館や各教室で全体会(講演)を視聴していただきます

②後半は、実践交流を行います

○第1・2・3分科会

10名程度のグループによるレポート交流

○第4分科会

10名程度のグループによるレポート・実践交流

【今年度のテーマ】

「すぐできる!かんたん!楽しい!集団活動」

(2) 分科会の構成

○第1分科会

児童会・生徒会・小中連携【小学校・中学校】

○第2分科会

学年学級経営【小学校】

○第3分科会

学年学級経営【中学校】

○第4分科会

表現・遊び・ものづくり【小学校・中学校】

(3) 会場 北ブロック ⇒ 石狩市立花川南小学校

南ブロック ⇒ 恵庭市立恵庭小学校

(4) 運営体制

花川南小6名、恵庭小8名の運営委員で運営します。

(5) レポートの扱い、部数、形式

分科会ごとに会員が実践レポートを作成します。同じ学校で、同じ分科会に所属する部員がいる場合、連名でのレポートでも構いませんが、全員がレポートを発表できるように学校内で打ち合わせをしておいてください。レポートは当日持参ではなく、オンライン形式にも対応できるよう、事前に提出していただき、事務局から学校代表の方にデータを送信する形といたします。(各自の所属する分科会のレポートを御自分の分だけ印刷し、御持参願います。)

○内容：各分科会のキーワードをもとにしたレポートを作ってください

○形式：A4サイズ 1枚程度 様式は自由

○提出先：C4thにて各担当へ提出

	北	南
第1分科会	とうべつ学園 小野寺 海人	恵明中 羽澤 茜
第2分科会	末広小 白倉 愛子	若草小 谷内 勇也
第3分科会	花川南中 宮内 徹也	東部中 福島 みさと
第4分科会	上江別小 笠原 吏世	勇舞中 小林 平

○提出期限 8月22日(月)

※レポート送信の際は、受け取り側が開けるよう、ファイル形式・パスワードなどに気を付けてください。

「Microsoft Word」で作られることを想定していません。Wordで開ける形か、PDFで送信してください

※個人情報(名前・写真など)にも配慮して作成してください

(6) 司会、提言、記録者等

小グループ交流では、当日に司会者・記録者をお願いすることになります。積極的に参加していただくとありがたいです。

4. その他

南北2会場に分かれ集合形式で開催する予定ですが、情勢によってオンラインになることもあります。どちらでも対応できるように準備を進めます。御協力よろしくお願いたします。(文責 札幌 靖大)